

資 材 内 訳 表

(単位：ha、本、m³)

林小班	伐区	伐採種	面積	立木仕掛品別	樹種	資材			生産予定材積			備 考
						類別	本数	材積	一般材	低質材	計	
94た2		間伐	10.58	立木	スギ		4,268	1,736.46	800	220	1,020	活用型（列状）
94た3		間伐	12.48	立木	スギ		4,384	1,975.28	710	313	1,023	活用型（列状）
					広葉樹		218	23.09		12	12	活用型（列状）
24に3		間伐	2.19	立木	スギ		656	280.64				存置型（定性）
71そ		間伐	6.05	立木	カラマツ		862	471.51				存置型（定性）
71つ		間伐	1.55	立木	スギ		552	122.58				存置型（定性）
86ほ1		間伐	4.47	立木	カラマツ		711	506.70				存置型（定性）
86ほ3		間伐	1.98	立木	カラマツ		373	251.69				存置型（定性）
90た		間伐	11.22	立木	スギ		6,045	2,159.41				存置型（定性）
小 計	経 常											
	保育間伐活用型		23.06				8,870	3,734.83	1,510	545	2,055	
	保育間伐存置型		27.46				9,199	3,792.53	0	0	0	
	誘 導 伐											
	保 護 伐											
	育成受光伐											
	天然林受光伐											
合 計			50.52				18,069	7527.36	1,510	545	2,055	

造 材 寸 法 書

区 分	樹 種	採 材 寸 法				採材 順位	用 途	備 考
		径級 (c m)	長 級					
			基準長 (m)	延 寸 (cm)	計 (m)			
一般材	スギ	16～	4. 00	6～10	4. 06～4. 10	1	割角	通直で節の少ない材（根柢は外すこと）
		16～22	3. 00	6～10	3. 06～3. 10	2	柱	
		24～	3. 00	6～10	3. 06～3. 10	3	割角	
		9～14	4. 00	6～10	4. 06～4. 10	4	杭材	通直材
		9～14	3. 00	6～10	3. 06～3. 10	5	杭材	通直材
		16～	4. 00	6～10	4. 06～4. 10	6	合板材	通直で節の少ない材（根柢は外す、節は5cm以内）
		16～	2. 00	6～10	2. 06～2. 10	7	合板材	
	低質材	全	2. 00	6～10	2. 06～2. 10	8	パルプ	
	低質材	全	4. 00	6～10	4. 06～4. 10	8	パルプ	
低質材	広葉樹	全	2. 00	6～10	2. 06～2. 10		パルプ	

（注） 採材については、本寸法書を基準とするが、需要の動向に応じ変更することがある。

寸法書以外の採材については、その都度指示する。

桧 積 基 準 表

区 分	樹 種	長 級 (m)	径 級 (c m)	用 途	基準量 (m³)	備 考
一般材	スギ (カラマツにも準用)	4.00	16～	割角	20～30	
		3.00	16～22	柱		
		3.00	24～	割角		
		4.00	9～14	杭材		
		3.00	9～14	杭材		
		4.00	16～	合板材		一般材（曲）
		2.00	16～			
		低質材	2.00～4.00	全		パルプ
低質材	広葉樹	2.00	全	パルプ		

（注） 桧積にあたっては上表を標準とするが、需要動向等により変更する場合がある。

該当外の樹種等については監督職員より別途指示する。

単 位 工 程 別 内 訳 書

(単位：m³)

事業場所	材種	単位工程	予定数量	備 考
新潟県南魚沼郡湯沢町 大字三国字東谷山国有 林 9 2 は林小班外	立木	全木伐倒	3,711.74	スギ、カラマツの伐倒
		伐木	23.09	広葉樹の伐倒
	素材	チェーンソー造材	12	広葉樹の造材
		プロセッサ造材	2,043	スギ、カラマツの造材
		フォワーダ集運材	2,055	
		山元トラック運材	2,055	
		山元機械巻立	2,055	
		検知	1,510	毎木検知
			545	層積検知

(注) 「プロセッサ造材」、「フォワーダ集運材」等具体的に記載する。

